

夫婦が奏でる癒しのひととき。

語りとピアノのコラボレーション



サンポートホール高松・大ホール



高松市石の民俗資料館



●植松おさみ

1970年西日本放送に入社し、アナウンサーとして活躍。讃岐弁を使っのインタビューには定評がある。テレビ「ズームイン朝」「あの町この街素人カラオケのど自慢」など多数を担当。早期退社後も西日本放送ラジオ「カラオケステージ」の司会を担当する。

香川県より「香川県情報発信アドバイザー」として委嘱される。様々な講演活動、シンポジウムのコーディネーター、パネリスト、司会等を担当。妻でピアニストの植松起代子氏とピアノとナレーションによるジョイントリサイタルを各地で開催し、今もライフワークとしている。



●植松起代子

高松市に生まれ、4歳よりピアノを始める。桐朋学園大学音楽学部ピアノ科を卒業。武蔵野公会堂をはじめ、地元高松市民会館、丸亀総合会館などでリサイタルを開催する。NHK洋楽新人オーディションに合格し、新日本フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団と競演する。1987年、植松おさみ氏とのジョイントリサイタルを開催する(丸亀市民会館)。ウィーン音楽セミナー(オーストリア)にも参加。2002年ケルン音楽大学にてフローレンス・ミレー氏にレッスンを受ける。現在、香川県立保育専門学校非常勤講師。